



国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

2022 年 11 月 30 日

国連世界観光機関 (UNWTO) 世界観光指標 (World Tourism Barometer) 2022 年 11 月号について

本報道発表の原文 (英語) は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文 (英語) は、下記リンクにて抄録 (無償)

及び全文 (有償) をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

観光回復の加速により、パンデミック前水準の 65% に達する見込み

2022 年 11 月 23 日

マドリッド

観光セクターはパンデミックから回復し続け、国際観光は 2022 年末までにパンデミック前の水準の 65% に達する見込みである。

1 月～9 月の国際観光客到着数は、推定で 7 億人となり、2021 年同時期の 2 倍以上 (133%増) を記録した。これは 2019 年の水準の 63% に相当し、観光セクターは今年、UNWTO のシナリオどおり、パンデミック前の水準の 65% に達する見込みである。この好調な結果は、繰越需要や信頼度指数の改善、より多くの国・地域における渡航制限の解除により、後押しされたものである。

観光セクターが史上最悪の危機から回復した速度に着目すると、最新の UNWTO 世界観光指標 (World Tourism Barometer) においては、2022 年 1 月の月間国際観光客到着数は 2019 年の水準を 64% 下回っていたが、9 月には -27% となった。2022 年の第 3 四半

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

期だけで推定 3 億 4,000 万人の国際観光客到着数となり、9 か月間の合計の約 50%に相当している。

ヨーロッパは引き続き世界の回復を牽引

ヨーロッパは、引き続き国際観光の回復を牽引している。同地域では、国際観光客到着数が 2022 年 1 月～9 月に 4 億 7,700 万人(世界全体の 68%)となり、パンデミック前の水準の 81%に達した。これは 2021 年の 2 倍以上(+126%)であり、強い域内需要と米国からの旅行に支えられた結果である。ヨーロッパでは、第 3 四半期が特に堅調であり、国際観光客到着数は 2019 年の約 90%の水準に達した。

同時に、2022 年 1 月～9 月の中東の国際観光客到着数は前年比 3 倍以上(+225%)となり、パンデミック前の水準の 77%までに達した。アフリカ(+166%)と米州(+106%)も、2021 年に比べて力強く成長し、それぞれ 2019 年の水準の 63%と 66%に達した。アジア・太平洋(+230%)の到着数は、2022 年の最初の 9 カ月で 3 倍以上になった。これは、9 月末に日本を含む多くの国・地域が国境を開放したことを反映している。しかし、アジア・太平洋の到着数は依然として 2019 年の水準を 83%下回っている。同地域の主要なソースマーケット（送客市場）である中国は、引き続き国境を閉鎖している。

パンデミック前の水準(又はそれ以上)の到着数と収入

いくつかの準地域では、2022 年 1 月～9 月の到着数がパンデミック前の水準の 80%～90%に達した。西ヨーロッパ(88%)と南・地中海ヨーロッパ(86%)は、2019 年の水準への回復が最も早かった。また、カリブ海、中央アメリカ(82%)、北ヨーロッパ(81%)も好調に推移した。9 月までの 9 か月間を通して、パンデミック前の水準を上回る到着数が報告された国は、アルバニア、エチオピア、ホンジュラス、アンドラ、プエルトリコ、ドミニカ共和国、コロンビア、エルサルバドル、アイスランド等である。

9 月の到着数は、中東(2019 年比+3%)とカリブ海(+1%)がパンデミック前の水準を上回り、中央アメリカ(-7%減)、北ヨーロッパ(-9%)、南・地中海ヨーロッパ(-10%)も 2019 年の水準に近付いた。

一方、セルビア、ルーマニア、トルコ、ラトビア、ポルトガル、パキスタン、メキシコ、モロッコ、フランス等、2022 年の最初の 7～9 か月間に国際観光収入が著しく増加した

国もある。また、主要なソースマーケットからの国際観光支出にも回復が見られ、フランスでは9月までの支出が2019年比で-8%に到達し、力強い結果を示している。2022年の最初の6か月～9か月の間に好調な支出を報告した他の市場は、ドイツ、ベルギー、イタリア、米国、カタール、インド、サウジアラビアであった。

好調な航空旅行とホテル宿泊需要

観光業の力強い回復は、UNWTO ツーリズム・リカバリー・トラッカー（Tourism Recovery Tracker）に示めされているように、航空座席数やホテルに関する指標などの様々な業界指標にも反映されている。1月～8月の国際線の航空座席数(有効座席キ口)は2019年の水準の62%に達し、ヨーロッパ(78%)と米州(76%)が最も好調だった。世界の国内線の航空座席数は2019年の水準の86%に上昇し、中東(99%)は事実上パンデミック前の水準に達した(IATA)。

一方、STR社によると、世界のホテル稼働率は2022年9月に66%に達し、1月の43%からの上昇を見せた。ヨーロッパでの稼働率は、7月と8月の74%に続き、9月に77%となり、回復を牽引している。米州(66%)、中東(63%)、アフリカ(61%)でも、9月の稼働率が60%を超えた。準地域別では、2022年9月に南・地中海ヨーロッパ(79%)、西ヨーロッパ(75%)、オセアニア(70%)が最も高い稼働率を示した。

今後の数ヶ月間については、楽観視しつつも慎重な見方

インフレ率の高止まりやエネルギー価格の高騰を含む厳しい経済環境は、ウクライナにおけるロシアの攻撃によって悪化し、第4四半期から2023年にかけての回復の速度を押し下げる可能性がある。UNWTO 観光専門家委員会における最新の調査は、2022年最後の4カ月間に信頼度指数の低下を示しており、楽観視しつつもより慎重な見方を反映している。回復速度を鈍化させる課題は増加しているものの、観光による輸出収入は2022年には1兆2,000億米ドル～1兆3,000億米ドルに達し、2021年比で60～70%の増加、すなわち2019年に記録した1兆8,000億米ドルの70～80%に達する可能性がある。

関連リンク:

[ツーリズム・リカバリー・トラッカー](#)



QR コード

[世界観光指標|Vol.20・第5版・2022年11月抄録](#)



QR コード

○**UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」)**とは
UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○**国連世界観光機関（UNWTO）について**

UNWTO は、1975年1月に観光に関する国際機関として設立され、2003年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所は、UNWTO の地域事務所として、1995年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●**お問い合わせ先(UNWTO 本部; メディア専用窓口)**

E-mail: comm@unwto.org

Tel: (+34) 91 567 8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問合せください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は
UNWTO 駐日事務所までご連絡をください。

○**一般のお問合せ先**

国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：吉田

電話：0742-30-3880

E-mail: info@unwto-ap.org

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org